

防災



7月2日は、暦の上では半夏至はんげしゅうにあたります。薬草のハンゲが咲くころ、かつては田植えを終える目安でした。

さて、梅雨まただ中、雨が気になるこのごろです。近年、大雨に見舞われることも多くなり、地震も心配です。今回は、そんな防災を特集してみました。

ハタロウ

第88号

生涯学習情報

●連絡先●
生涯学習課
☎(20)1559

過去30年の茂原市に関する災害

発生年	名称	備考
昭和62年	千葉県東方沖地震	
平成元年	台風12号	洪水被害
平成2年	竜巻	
平成8年	台風17号	浸水被害
平成23年	東日本大震災	
平成25年	台風26号	浸水被害

なぜ、今、防災？

4月末に、政府から全国各地震動予測地図が公表されました。これによると、今後30年間に、震度6以上の地震が千葉県を襲う確率はかなり高いといわれています。

○過去に学ぶ

過去30年に茂原市を襲った災害を表にしてみました。地震、竜巻、水害などが発生していることがわかります。

東日本大震災でも、計画停電など、大きな影響がありました。平成23年には『茂原市地震防災マップ』が各戸に配布されました。



真名ゴルフ場入口道路の亀裂

地震

千葉県東方沖地震は覚えていらっしゃる方も多いでしょう。震度5で、建物被害と共に、水道管の破裂、道路の亀裂など大きな被害が出ました。地震によって真名ゴルフ場近くの道路に2mもの段差ができました。

竜巻

平成2年の竜巻は、高師地区を起点に発生して、新茂原駅の北まで進みました。風速は最大90メートル毎秒に達し、樹木や建物が倒壊し、屋根



吹き飛ばされた自動車

や自動車が飛ばされ、死者が出るなど被害は甚大でした。

水害

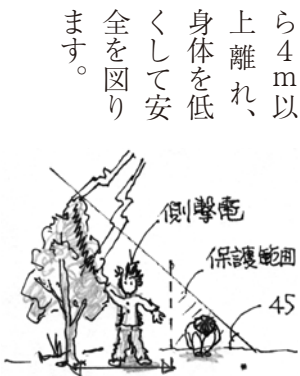
市街化により、河川の流域を持つ保水や遊水の能力が低下し、その結果、雨水が短時間に川に流入し、増水しやすくなりました。また、もともと水田や湿地だったところが宅地化されたことも影響しています。

さらには、地盤沈下が行進し、低地部では川に流れ出ない内水の被害も発生しています。これを受けて、一宮川の改修を行い、平成26年に、『洪水ハザードマップ』が各戸に配布されました。



○注意報と警報って？

「注意報だから、まだいいか」なんて思っていないですか。注意報は災害が起こるおそれ、警報は重大な災害が起こるおそれがある場合に発令されるものです。注意報だからといって、災害が起きないわけではないのです。



屋外では樹木や電柱などから4m以上離れ、身体を低くして安全を図ります。

竜巻は、台風、低気圧や前線、寒気の流入などに伴い積乱雲ができるときに多く発生します。雷や豪雨を伴うことが多い、頑丈な建物の中に避難することが大事です。